

産学連携コンソーシアム: YU-FIC

山形大学フレキシブルエレクトロニクス 日独国際共同実用化コンソーシアム

Yamagata University Flexible Electronics Japan-Germany International
Collaborative Practical Utilization Consortium (YU-FIC)

【ご挨拶】

山形大学におきましては、山形県・米沢市など地元地域とも連携して、ザクセン・ドレスデンを中心としたドイツとの産官学に渡るさまざまな連携を推進して参りました。

この度、この連携をさらに発展拡大させるべく、新たな産学連携コンソーシアム「山形大学フレキシブルエレクトロニクス日独国際共同実用化コンソーシアム(略称: YU-FIC)」を立ち上げました。

本コンソーシアムにおきましては、新たなフレキシブルエレクトロニクス製品を創出すべく、山形大学が核となって、日本企業とドイツ企業との共同研究を進めて参ります。

プロジェクト期間

2017年10月1日～2021年3月31日(3.5年間)

開発テーマ

1. 超薄板ガラスを用いたRoll to Roll法大面積有機EL照明製造の革新的トータル技術開発
2. 有機エレクトロニクス技術を用いた広告用製品開発
3. 3DPCBの製造プロセスおよび用途開発



YU-FIC運営統括



教授
高橋 辰宏

Dr. Tatsuhiko Takahashi

effort@yz.yamagata-u.ac.jp

(専門)

高分子化学・複合材料・管理運営・国際連携
(経歴)

1988年 早稲田大学 理工学研究科 応用化学専攻修士課程修了

1988年～1998年 DuPont 株式会社 研究員

1996年 山形大学 工学研究科 物質生産工学専攻 博士課程(工学博士)

2002年～ 山形大学 助手・助教授・准教授

2008年～ 山形大学 教授

2016年～ 山形大学INOEL センター長

YU-FIC代表



准教授
古川 忠宏

Tadahihiro Furukawa

ta-furukawa@yz.yamagata-u.ac.jp

(専門)

微細パターン加工技術、印刷技術、ロールto
ロール技術

(経歴)

1984年 埼玉大学院工業技術研究科修士
課程修了

1984～2011年 共同印刷株式会社(カラーフ
ィルター(CF)の開発・生産、フレキシ
ブルCF、およびLCDの開発、等)

2011年～ 山形大学有機INOEL(現職)

YU-FIC幹事



産学連携教授
向殿 充浩

Dr. Mitsuhiro Kodon

koden@yz.yamagata-u.ac.jp

(専門)

液晶、ディスプレイ、有機EL、化学
(経歴)

1983年 大阪大学大学院工学研究科
博士課程終了(工学博士)

1983～2012年 シャープ株式会社
(液晶、有機EL)

1998～2011年 奈良先端科学技術大学院大学
客員教授

2012年12月～ 山形大学INOEL(現職)

【お問い合わせ先】

山形大学
有機エレクトロニクスイノベーションセンター

仲田産学連携教授・向殿産学連携教授

E-mail : nakada@yz.yamagata-u.ac.jp (仲田産学連携教授)

koden@yz.yamagata-u.ac.jp (向殿産学連携教授)

URL : <http://inoel.yz.yamagata-u.ac.jp/F-consortium/home.html>

TEL : 0238-29-0575 FAX : 0238-29-0569